

平成30年度 実施した主な事業

施政方針『7つのプラン+α』に沿って、次のような事業を行いました

プラン 1 市民参画の行政、街づくりで地域創生

①市長と語る会事業 ▷ 1万3千円

◀主な事業内容：市長と語る会の実施▶

太宰府のこれからのまちづくりについて、地域に向いて市民の皆さんをはじめ、さまざまな団体などと直接意見交換を行いました。また、有識者に市長室や市役所を訪問いただき、ご意見を伺いました。



プラン 2 学問の神様にふさわしい教育、子育て

①小学校施設整備事業 ▷ 2億4323万9千円 中学校施設整備事業 ▷ 2億7573万9千円

◀主な事業内容：学校施設大規模改造等の実施▶

児童生徒にとって学びやすい学習環境の整備に努めました。昨年度は、太宰府西小学校体育館と太宰府中学校教室棟の大規模改造、太宰府東中学校全校舎の外壁と屋上防水工事を行いました。

②要・準要保護生徒関係事業 ▷ 3160万5千円

◀主な事業内容：新たな就学援助制度の実施▶

ランチサービスに係る費用を就学援助の対象とした「新しい就学援助制度」を開始。ランチサービスの充実と、喫食率の向上を図りつつ、太宰府らしい食育を推進しました。

③教育・保育施設事業 ▷ 14億1186万2千円

◀主な事業内容：認可保育所の定員増加▶

既存施設の増改築や小規模保育施設の新設など施設整備を進め、待機児童解消の推進を図りました。



プラン 3 徹底した行革と超成長戦略で財政再建

①総合企画推進事業 ▷ 1億2834万1千円

◀主な事業内容：ふるさと納税の拡充▶

ふるさと納税ポータルサイトを拡充し、寄付額の増加を実現しました。また、「THE DAZAIFU」プロジェクトをスタートさせ、太宰府を題材にしたアイデアで新たな事業展開を図ったほか、クラウドファンディング筑陽学園高校「甲子園」応援プロジェクトを実施しました。



②大宰府跡等整備事業 ▷ 1336万円

◀主な事業内容：大宰府跡等整備事業▶

政庁跡のVRコンテンツの利用促進や、大宰府跡客館地区の史跡保存、遺構表示についての準備を行いました。

③商工振興事業 ▷ 7217万1千円

◀主な事業内容：創業支援の推進▶

市内創業を促進するため、国・県などの各種創業支援事業への積極的な参加、商工会が主催する創業塾との連携など、創業支援事業の充実を図りました。また、市内産業を担う既存の事業者へのサポートも行いました。

プラン 4 積極的広域連携による大太宰府構想

①渋滞対策事業 ▷ 2127万7千円

◀主な事業内容：「総合交通計画」および「地域公共交通網形成計画」の策定▶

さらなる人の往来と交通渋滞解消が両立されるよう「交通大動脈計画」を立案するため、昨年度は道路網の計画である、「総合交通計画」および「地域公共交通網形成計画」の検討を行いました。

②コミュニティバス運営事業 ▷ 1億5762万2千円

◀主な事業内容：「まほろば号」ダイヤ改正▶

経費削減を念頭に置き、地域からの要望に応えながら適正なダイヤ改正に向けて検討を行いました。

③観光事業推進事業 ▷ 1930万5千円

◀主な事業内容：「観光推進基本計画」の策定▶

観光連携による回遊性向上を図るため、「観光推進基本計画」を策定し、本市の観光政策のグランドデザインを示しました。

プラン 5 環境重視の逆転発想で渋滞解消

①渋滞対策事業 ▷ 2127万7千円

◀主な事業内容：総合体育館周辺・西鉄天神大牟田線沿線周辺の渋滞実態調査の実施▶

平成29年度の太宰府天満宮周辺調査に続き実施し、太宰府市総合交通計画協議会、太宰府市地域公共交通活性化協議会において対策案の構築を図りました。



②生活道路改良事業 ▷ 7594万5千円

◀主な事業内容：「市道の整備・管理」▶

各自治会から要望がある道路や側溝、舗装の傷みが激しい道路、通学路などの改修や修繕、側溝蓋未設置箇所の計画的施工を行い、安全かつ快適に道路を通行できるように整備しました。

プラン 6 民間の知恵を生かした高齢者福祉

①包括的支援事業 ▷ 4124万7千円

◀主な事業内容：地域包括支援センター運営事業▶

社会福祉協議会と連携して、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの専門職が地域に出向き、出張相談会を行いました。また、相談ブースを設けるなどのアウトリーチ型の相談対応を進めていきました。

②健康づくり推進事業 ▷ 1108万4千円

◀主な事業内容：元気づくりポイント事業▶

健康診査・がん検診などの受診、スポーツ、文化芸術、自治会活動などへの参加に対して商品券と交換できるポイントを付与し、積極的な参加を促すことで、健康寿命の延伸を図りました。

③成人健康診査事業 ▷ 4365万7千円

◀主な事業内容：病気の早期発見・早期治療の実施▶

新規事業として、50歳以上の人に対し受診間隔を2年に1回とする医療機関での胃内視鏡検診を導入し、胃がんの早期発見・早期治療のための取り組みを進めました。



プラン 7 防衛省自衛隊と連携した市民の安心安全

①災害対策関係事業 ▷ 2786万6千円

◀主な事業内容：被災者支援システムの構築▶

災害時に個々の被災者の被害状況や支援状況、配慮事項などを一元的に集約・管理し、併せて市内部で共有化を図れるよう、住民基本台帳システムとリンクした被災者支援システムを構築しました。

②農業用施設整備事業 ▷ 6199万1千円

◀主な事業内容：農業用施設の耐震診断、計画的な補修▶

築造設置から相当の年数が経過しているため池の耐震診断などの調査を行いました。

③交通安全施設整備事業 ▷ 6275万1千円

◀主な事業内容：交通安全施設の整備改善▶

道路区画線やガードレール、視覚障がい者誘導ブロックなどの交通安全施設の整備改善を進め、安全かつ快適に道路を通行できるように整備しました。

その他 第五次総合計画 後期基本計画事業

①国民健康保険運営事業 ▷ 72億5049万7千円

◀主な事業内容：国民健康保険の健全運営▶

昨年4月から国民健康保険における財政運営の責任主体が福岡県に移行したことに伴い、県が提示する「国民健康保険事業費納付金額」を基に、国民健康保険加入世帯の世帯主に対して所得に応じた適正な賦課・徴収を行い、国民健康保険事業費納付金として県に納めました。また、3月に策定した「第2期太宰府市国民健康保険データヘルズ計画」に基づく保健事業の推進及び医療費の適正化に努めながら、国民健康保険事業の健全で安定した事業運営を図りました。

②ごみ減量推進事業 ▷ 2856万2千円

◀主な事業内容：リサイクル事業の推進▶

古紙等資源回収を行っている団体への奨励金の交付や、広報紙、ホームページ、自治会への出前講座などのさまざまな手段で、ごみ減量について啓発を行いました。

③人権教育推進事業 ▷ 533万6千円

◀主な事業内容：人権講座・人権講演会の開催、啓発物作成▶

家庭・職場・学校・地域などあらゆる分野を通じて、市民の皆さんに人権尊重の理念を普及し、理解を深めていただくよう、人権教育啓発推進法および部落差別解消推進法などに基づいた教育・啓発を、学校教育とも連携を図りながら進めました。